

E. coli由来のクレアチナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1242

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 Pseudomonas sp. 由来のクレアチナーゼは、サブユニットあたり28.4 kDaの分子量を持つホモヘキサマー酵素です。これは、クレアチンをクレアチンに可逆的に交換するサイクリックアミドヒドロラーゼです。各モノマーは、βストランドのC末端近くと主なαヘリックスのN末端に二核亜鉛中心を含んでいます。これらの亜鉛イオンは、活性部位の位置を示しています。

別名 EC 3.5.2.10、クレアチニンヒドロラーゼ；クレアチナーゼ；9025-13-2

製品情報

種	E. coli
由来	大腸菌
外形	白色凍結乾燥物
EC番号	EC 3.5.2.10
CAS登録番号	9025-13-2
分子量	ca. 170 kDa
活性	> 500 U/mg 凍結乾燥物
混入物	カタラーゼ < 1.0%
等電点	4.8
pH安定性	7.0-11.0
最適pH	6.5-7.0
熱安定性	60°C未満
最適温度	60-65°C
ミカエリス定数	3.4×10^{-2} M (クレアチニン) 4.3×10^{-2} M (クレアチン)
構造	28 kDaの6つのサブユニット (SDS-PAGE)
活性化因子	Mg ²⁺ , Mn ²⁺
阻害剤	Hg ²⁺
単位定義	1単位 (U) は、37°CおよびpH 6.8で1μmolのクレアチンを1分間に生成する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで